

1 題材名

身近な消費と環境 （2）家庭生活と環境

～環境のことを考え、私たち消費者にできることは何か提案しよう。～

2 題材について

（1）題材観

3月に起こった東日本大震災、原発事故により、いつも当たり前に使っていた電気エネルギーや化石燃料は、当たり前にあるわけではないことを痛感した。もっと一人一人が地球環境を真剣に考え、現在ある環境を持続させ循環していくために、今まで以上に環境やエネルギー問題について取り組んでいかなければならないと強く思った。

私たちが商品やエネルギーを消費している消費者として、大量に生産された物やサービスを使うことに慣れ、自分たちの消費行動が環境に与える影響について多少なりとも意識をしていますが、実際に改善策を実行に移すことはなかなか難しい。

環境についての学習は小学校から始まっている。小学校の学びを生かし、その学びをスパイラルさせて、深まるように授業の構成を考えた。今までの学びが生活とかけ離れないように、自分の生活の実践を環境問題として意識するところからスタートさせた。環境問題については、個人で取り組むだけではなく、情報を共有して、みんなで考えていかなければならない問題だと思っている。共有して話し合っていく言語活動を重視し、このような授業を組み立てた。

本題材では、消費者としての視点を持ちながら、地球環境までも視野に入れた消費生活を営むことができるような考え方や態度を身につけさせたい。

義務教育を卒業していく前の中学生に環境やエネルギーについての取り組みの種を心に植えたいと思った。今回の授業での環境アクションの計画を2月の最後の授業で、発表会を行うことにしている。彼らが大人になったとき、一市民として、地球人として、環境やエネルギーを大切に、循環型社会を担う一人に成長していってくれることを願い本題材を設定した。

（2）生徒の実態（3年 5組 19男子 名、女子 20名）

環境問題について事前にアンケートをしてみると、全体的に環境に対して、関心が高いとは言えない。環境に配慮した取り組みについては、保護者が中心になって行っている。環境のことを常に意識しながら、消費行動ができる子どもたちに育てたい。

3 題材の目標

- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。

4 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
生活や技術への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活が、環境に与える影響について関心を持つ。 ・消費生活について関心を持って学習活動に取り組み、環境に配慮した、よりよい生活を実践しようとしている。
生活を工夫し創造する能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり、実践を通して自分なりに工夫したりしている。
生活の技能	
生活や技術についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について理解している。 ・環境に配慮した消費生活に関する知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画

時間	○ ねらい ◇学習内容	関	創	技	知	評価規準・評価方法	育てたい力
1	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の身の周りの地球環境について知る。 ◇身の周りの環境問題の情報を得る。 ◇家庭で行っている環境に配慮した実践を調べる。(課題) 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について関心を持つことができる。 (学習プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の周りを振り返り、環境問題を見つける力。
2	<ul style="list-style-type: none"> ○家で実践している環境に配慮した活動を共有する。 ◇環境に配慮した実践を、衣食住その他のカテゴリーに分類する。 ◇外国の環境問題を意識した取り組みを知る。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で行っている環境に配慮した実践を共有し分類できる。 ・自分の消費行動が環境問題に影響を与えている事に気づくことができる。 (学習プリント) 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を収集し、整理して、分類したり、比較したりする力。 ・自分の行動が、環境に与える影響を考えられる力。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○環境についてより深く知る。 ◇環境に配慮した実践の意味を調べる。 ◇調べたことを自分の言葉で説明し合い知識を共有する。 				○	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した実践の意味を、調べ伝え合うことができる。 ・知識の共有ができる。 (学習プリント、定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と消費行動の関係についての理解。

時間	○ ねらい ◇学習内容	関	創	技	知	評価規準・評価方法	育てたい力
4 本時	○自分にできる環境アクションを決定する。 ◇環境やエネルギーのことを考えながら、生活者の立場で、環境アクションを決定する。	○	○			・これからの自分に何ができるかを考える。 (学習プリント)	・自分の行動が、環境に与える影響を自分の価値観で判断できる力。
0.5	○環境アクションの実践発表を通して、社会の一員として環境に配慮した消費生活を心がけ継続して取り組む意識を持つ。 ◇実践の発表会をする。		○			・自分の実践をまとめ、発表できる。 (ワークシート、発表)	・環境に配慮した消費生活について実践できる力。

6 本時の指導

(1) 内容 「自分にできる環境アクションを決定しよう。」

(2) 本時の目標

- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境アクションを決定することができる。

(3) 本時の評価規準

	関心・意欲・態度	創造する能力	生活の技能	知識・理解
おおむね満足	・自分や家族の環境に配慮した消費生活について考える。	・自分や家族の消費生活の点検から、より環境に配慮した生活にするために自分のできることを考える。		

(4) 本時の展開

学習課程	時配	生徒の活動	教師の指導と支援	資料・評価 (方法)
課題をつかむ	2	<ul style="list-style-type: none"> 前時の学習内容の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会に向け、これからの自分たちの生活をどのようにしていこうか考える時間であることを確認する。 	学習プリント 掲示 資料
	18	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">環境に配慮した生活を送るために、今の自分たちにできることを、社会の一員として考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した生活を送るために、今自分たちにできることや社会で変化していることについて、カテゴリーごとにグループで考える。 グループで考えた内容を、カードに記入し、提示する。 グループ同士で、環境アクションが重なったら、話し合っ、より深い理由を選び掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校を含めて、今までの学習で得た知識をもとに考えるように伝える。 調べたことや、実践した事柄をもとに考えさせる。 自分ができただけでなく、家族への働きかけについても考えさせる。 社会の変化については、地域や企業の取り組みについて気付かせる。 地域や社会に対して、働きかけたり発信することについても考えさせる。 話し合いが進まない場合、前回の資料を見て助言する。 	
深める	20	<ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した生活を送るために、今自分が何をするか環境アクションを決定し、掲示する。 掲示した環境アクションをお互いに見合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でできること、自分以外にも家族や、周りの人々への働きかけなども考えさせる。 考えつかない生徒に対して、グループで考えたことを参考に考えさせる。 いろいろな考えを知り、共有するために理由も見るように伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生活を見つめて環境アクションを決定することができる。 <工夫> (プリント・カード) 学習プリント

ま と め る	10	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業を通して気づいたことや考えたことをまとめる。 ・発表する。 ・循環型社会の一員になることができるように意識する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をしながら、良い意見の生徒に発表を促す。 ・自分たちのひとつひとつの行動が、持続社会をつくっていくことを知らせる。 ・地球環境に配慮した生活を送るには、世界の国々が協力し、すべての人たちの参加が必要になること、私たち一人一人の家庭生活もその一部であり、実践を通して、学習したり、情報収集につとめることが大事であることを伝える。 	
------------------	----	--	--	--

(5) 本時の評価

- ・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境アクションを決定することができたか。

